

# 大分県特定施設連絡協議会 議事録

会議名	平成 22 年度 大分県特定協運営委員会 臨時総会	日 時	平成 22 年 12 月 21 日 16:00 17:30
		場 所	つるみ荘 1Fカトレア
議 長	豊田 稔(偕楽園・マネージャ)・進行(まごころ苑・中山苑長)		
出席者	アーバンリブ金池(橋本)、ウェルファ豊丘(大石)、おおいた南(渡邊)、グランドホーム坂の市(井本)、グランドホーム古国府(首藤、吉良)、グローバルライフ生石(井上)、ケアホーム偕楽園(田尻、豊田、末吉)、ケアマンションひだか(河津)、小池原・福招苑(大田)ジュエル藤原(松谷)、シルバーヴィラおぐす(相良)、シルバーホームなごみ(山口)、ハーモニークワーター(谷川、宝珠)、はびね別府流川(八坂)、はびね別府亀川(秦、中野)、初音の里(井門)、まごころ苑(中山)、悠久の丘・万葉(西谷、歳納)、白雲山荘(新貝)		
欠席	19 施設 25 名		
	ケアホーム玄々堂(南)、夢まごころ苑(遠藤)、檉の樹(松田)シニアウスほりかわ(堀川)、スカイホーム明野(峯)		
	5 施設		
経 過	16:00 平成 22 年度・大分県特定施設連絡協議会・臨時総会 開会		
	<p>1. 会長挨拶...八坂会長より挨拶があった。</p> <p>2. 開催経緯説明 開催の経緯について事務局より説明があり、意見交換の前に会則改訂についての議事を行うことにした。</p> <p>3. 議長選出...司会者(中山)より、本総会出席施設数及び出席人数の報告があり、本総会の成立を宣言し、その後、議長選出について議場に問うたところ自薦・他薦共になく、豊田稔氏(偕楽園マネージャ)を指名し、その可否を議場に問うたところ、全会一致で承認された。</p> <p>4. 議長議事進行に入る。</p> <p>(1)第 1 号議案「会則改訂の件」...議長指名により、事務局(首藤、グランドホーム古国府)より 役員の選任方法について、会員の互選から当番表による持ち回り制の説明及び持ち回り制に伴う役員の任期の削除について説明があった。その後、議長より説明内容について議場に問うたところ、以下の質問及び意見があった。</p> <p>初音の里 井門事務長より「運営委員会では、当番制の案を出す前に任期の延長などで特定協の運営維持について検討はされなかったのか?」との質問があった。</p> <p>回答:事務局より、公平性を保つには当番制が妥当であるため、この案で検討を進めたとの報告がされた。</p> <p>グローバルライフ生石の井上施設長より「任期 2 年と再選 1 回のみの方の変更でよいのではないかと継続できる施設は継続できるようにすれば B グループの負担も軽減できるのではないかと」の意見があった。</p> <p>回答:事務局より、「運営の方法については当番となった役員で決めていける。メールなどインターネットを利用することもひとつの方法では」との意見があった。</p> <p>福招苑の太田施設長及び万葉の西谷施設長より「任期を 2 年、再選 1 回というように決めてしまうのか」「原則として任期 2 年だが、再選することもよしとするでよいのではないかと」の質問、意見があった。</p> <p>回答:事務局より、「西谷施設長が言われたように、原則として 2 年、再選することもよしと言う文言で審議願います」と議長に申し出た。</p>		

この後、議長は、第1号議案について、その議決を議場に問うたところ、総会参加施設及び委任状を合わせた18施設が賛成。3分の2以上の賛成で議案は採決された。

5.議長より、今回の審議は会則改訂の議案だけなので、これをもって議事を終了するとの宣言があり降壇した。

6.協議会の今後についての意見交換の場が設けられ、協議会の名称や全国特定協との相互会員化などについて意見が述べられた。

7.閉会...進行担当より、閉会を宣言し、本臨時総会は終了となった。

中途退席				必要事項 (備品、用品等)			
回覧印	会長	副会長	副会長	委員	委員	委員	
							
記録者	職名	氏名	首 藤 毅 志	 印			